

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

嶮山小通信 5月号

ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

横浜市立嶮山小学校

TEL:902-7161,7162

FAX: 904-4254

令和 2年 4月 30日

校長 山口 昭代

待っています。

校長 山口 昭代

「新年度になって、3週間が経とうとしています」。

嶮山小通信の巻頭言の書き出しは、昨年度と同じものが、そっくりそのまま通用します。そして昇降口の前、北門側に咲く赤と白、二本のハナミズキも、俯瞰すれば、ちょうど三角形の一点となるような満開のモッコウバラの黄色との美しいコントラストで、毎年変わることはない嶮山小学校の春の風景を彩っています。

ただ今年、肝心の子どもたちの姿がありません。PTA 役員・委員のみなさまや保護者、地域の方々の姿も、校内にはありません。

緊急受入れや校庭開放に来校する児童の対応がありますが、教職員も先週からは自宅勤務が推奨され始めました。すべて新型コロナウイルス感染防止を防ぐことが目的の、かつて経験したことのない不測の事態が、こうして「学校の春」3月と4月をすべて覆い尽くしてしまったと言えます。

さて、2020年度は小学校新学習指導要領の完全実施の年、のはずでした。

政府広報に、短くまとめられた解説が書かれていますのでご紹介します。

「グローバル化や人工知能・AI などの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの時代。子どもたちには自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められます。」

ここに『新型コロナウイルスなどの感染症』を挿入したとしても読み進められることが分かります。人類の英知を結集しても解決に困難がともなう出来事が世の中には数多くあることを実感します。予定調和でない、予測の難しい時代に生きる子どもたちにとって、「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え判断し、行動できる」力を育むことは、大人の責任として、とても大事になってくることを感じます。

休校もまもなく2か月を数え、家庭で過ごす時間が多くなってきましたが、それゆえにそれぞれのご家庭での保護者のみなさまのかかわりが、あらゆる物事への信頼、親愛、自信を育む土台となっていくことを感じます。子どもたちの話に傾聴し、共感し、助言し、励まし、学びのすべてを支えてくださっているのだろうと想像します。本当にありがとうございます。

学校がお休みの間に、子どもたちの生きる力や意欲が充電され、「はやく学校に行きたい」「はやく友達と遊びたい」「いっしょに走り回りたい」「初めて出会った先生と話がしたい」「いろんな勉強がしたい」、そんな思いをあふれさせて来たるべき時に登校できる子どもたちであるならば、必ずや授業や学級づくりの時間数的な遅れは取り戻せるに違いありません。

私たち教職員も学校再開に向けてのカリキュラムマネジメントと授業準備、そして子ども理解に全力で取り組みます。そして、緊張感をもって感染防止の行動選択を進め、一日も早い収束に向けての貢献に努めていきたいと思っています。

保護者、地域、関係のみなさま方、どうぞお大事に、今月もよろしくお願い申し上げます。